

高校生 武本 栄里

日韓アジア基金が主催するビビンの会に今回初めて参加しました。以前から生まれ育った国を離れ異国に住む外国人に関心があり、特に日本に来た韓国人の方のお話を伺いたいと思っていました。なぜならば私の祖先は韓国にルーツを持つからです。そんな時、ネットでビビンの会の存在を知り、これだ！と感じこの交流会に参加しました。

皆さん高校生の私よりも年上で社会人の方が多く、話が合うのか？なにを話せばいいの？と不安になりましたが、ビビンの会の参加者は皆さんフレンドリーですぐに笑顔になることができました。

この交流会の中で一番印象に残ったのはディスカッションです。

私のグループのテーマは「仕事」についてでした。韓国と日本の企業形態の違いや、実際に体験されてきた方の話は面白く興味深いことばかりで、このディスカッションを通じて韓国と日本の違いや、日本に住む外国人のリアルな声を聞くことが出来ました。色々な話を聞いて異国で暮らすことがどんなに大変なことなのか身近に感じることもできました。

他のグループは「日韓の男性の違い」について話していて、韓国の男性は女性のエスコートが上手だがマザコンが多いとか、日本の男性は真面目だが消極的すぎるなど様々な意見を聞いて思わず笑ってしまいました。

この交流会で触れるもの、感じるものは全て新鮮でした。外国人と聞くと、私たちにとってすごく遠い存在のように感じますが、お互い同じ人間であり、きちんと話せば心を通わせることが出来ます。

ビビンの会にはお金や権力で成り立った関係ではなく、人と人との繋がりがありました。国や国籍にとらわれず、どんな人も以前からの知り合いのように受け入れてくれる。これがビビンの会の素晴らしさだと思います。最後の食事会も予定があり参加できませんでしたが、きっと参加していたらもっと楽しいお話が伺えたと思うと残念です。これからもビビンの会に参加したいと思います。ありがとうございました。